

# 和歌山スキー協通信

2023. 5. 1 (22-23 NO. 5)

えらい勢いで雪が消え、営業終了を早めるスキー場が相次ぎました。楽しみにしていたゴールデンウィークのスキーもあきらめざるを得なかった、という方もあるのでは？気候危機への対策は、スキーヤーにとっても一刻の猶予もない課題ですね。一人ひとりが、あるいはスキー協として、なにかできることはないか考えながら今シーズンを振り返り、来シーズンへの思いをはせましょう！

## 重雪でヘトヘト！

### ～県スキー協 3月志賀高原ツアー～（報告：岸裏一起）

3月25・26日の県スキー協春の志賀高原スキーツアー（参加者9名）は、全員が前日午後でも出発できるということで出発を早め、中岡大（すべりや）車に辻本・田辺・池口（シュカブラ）、岸裏一・睦（ビュースター）車に伊藤（シュカブラ）・宮本・坂本（会員外）と分乗して現地に向かいました。

ホテル山楽前まで道路に積雪は無かったものの、湯田中を過ぎると濃霧に見舞われ恐々の到着でした。

前泊していると夜半に雨音が強くなり、朝食時も食堂の窓の外はそこそこの雨でした。1名は早速ホテル待機と決め込み、翌日も雨予報だったのでとりあえず1日券購入者と2日券購入者に分かれました。

ホテルを出てみると雨は小降り、一ノ瀬ファミリーで足慣らしをした後、ダイヤモンドから焼額、奥志賀へと8人でのツアースキーを楽しみました。雨は、焼額や奥志賀の中腹から上では雪になることもありましたが、時々止んだり、一時は雲の向こうに太陽の形が分かることもありましたが、雨の中ではゴンドラが大変ありがたかったのですが、雪面はどこもグ



ショグショで足に負担のかかる重た〜い雪！奥志賀での昼食の後、ダイヤモンドに帰り着いて解散した時には結構ヘトヘト。小休止してホテルへ帰る者もいましたが、寺子屋から高天ヶ原の口まで行ってリフト終了前まで滑っている輩もいました。（この日の寺子屋の雪は他所よりは幾分マシでした。）

翌日も、夜半からの強風とともにやはり雨。1日券組3人もホテル待機を決めたので、帰りのホテル出発は12時に早めました。2日券組5人は意地で滑りに出ましたが雨は意外と小降りなのに強風でリフトはファミリーだけ、10時過ぎにやっと寺子屋のリフトが動いたので行ってみましたが、雪はベトベト。風でリフトが止まらない内にとファミリーに戻って、迂回コースから11時前には早々とホテルへ。



昨年同ツアーに参加してくれた春から高校生の坂本君は「昨年の方がうまく滑れた気がする」とのこと。悪雪のため、楽しく滑れたとは言い難い状況で疲れましたが、「みんなケガも無く無事にシーズンを終えたことは、とにかく良かった！」かな？（1名は翌週も志賀高原で関プロ検定会に・・・ご苦労様です！）帰りは各車で寄り道もしつつ帰和しました。

（ビュースター 岸裏一起）

## クラブだより

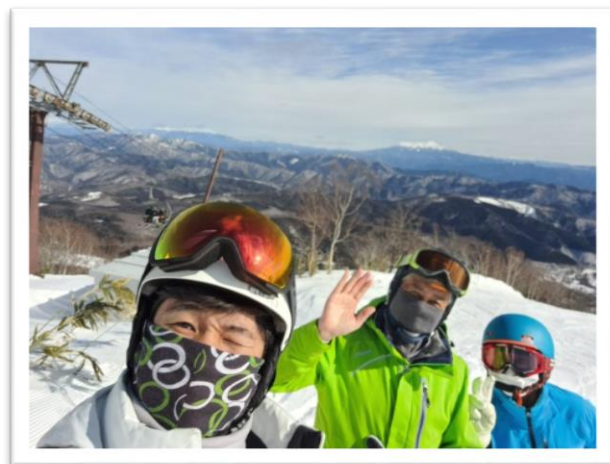
今シーズンは何年ぶりかで全4クラブでスキー行事をおこなうことができました。各クラブのツアーの様子をお伝えします。

### すべりやスキークラブ

（1/21・22 めいほう 3名）

久しぶりにすべりやのスキーツアーを開催することができました。2020年2月に木曾福島に行って以来、3年ぶりです。参加は3名（中岡大・滉とシュカブラの辻本美保さん）だけとなりましたが、スキー教程の確認もしながらいっぱい滑ってきました。（見えにくいと思いますが、写真奥の山は右が御嶽山、左が乗鞍岳。北アルプスも見えていました。）

（「ツンドラタイガ」NO.58より転載）



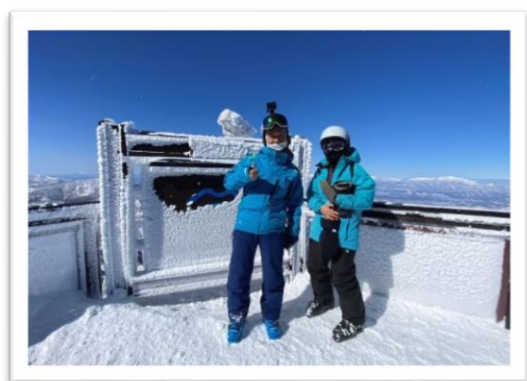
## シュカブラスキークラブ (3/8 めいほう 4名)

シュカブラにとっては久々のワンデイツアーです。当初は2月5日氷ノ山スキー場で計画していましたが諸事情により3月8日めいほうスキー場に変更になりました。池口、辻本、田辺、伊藤の4名参加で8日早朝4時和歌山発、堺経由で9時頃めいほう着です。ゲレンデは3月初旬とは思えないほどの高温晴天で雪はぐさぐさの上にたっぷり水を含んでいてこの上なく悪コンディションでした。少し滑っただけで足が重く体力が奪われる（技術不足のせい）のを感じました。その上、すごく深く掘れて不規則なコブに突っ込んでしまい久々の大転倒、下るのにとても苦労しましたがおもしろく楽しいのも事実です。少し早めの昼食休憩をとり午後のスベリに出ましたが少しして太ももが「こむら返り」をおこしたので私はギブアップしましたが皆さんも私を気づかって終了しました。帰りは明宝温泉に立ち寄り疲れを癒し夜9時ごろ無事帰りました。

私はめいほうスキー場は今回が初めてでしたがコンディションが良ければとても良いスキー場だと思います。次回はもう少し早い時期に計画し大転倒したコブを再挑戦しようと思います。それと食べそこねた「めいほうクレープ」と「近江牛バーガー」にも挑戦できればと思います。【注—これは美保ちゃんの課題】  
(シュカブラスキークラブ 伊藤郷雄)



## きのくにスキークラブ (1/19~22 野沢、2/28~3/3 志賀高原)



コロナの影響で参加人数が少ない状態が続いたシーズンでした。(1月・3月とも、参加は木下・山本の2名)

高齢化の影響で安定した人数を確保することが難しくなってきました。スキーツアーの在り方もどうしていくか検討課題です。

(きのくにスキークラブ 小林正知)

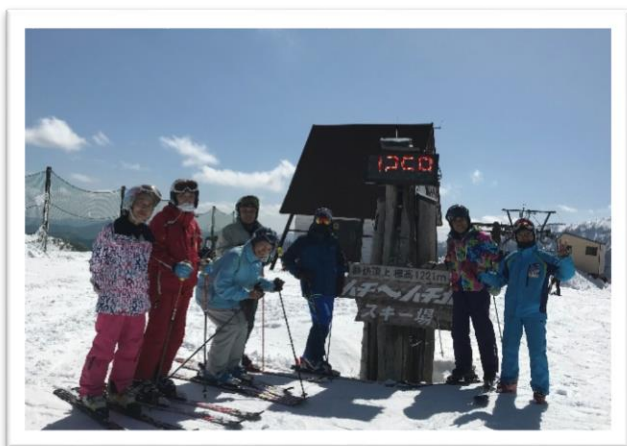
## ビュースタースポーツファミリー (3/3 ハチ北 7名)

当初1月29日の予定でしたが、1月末は積雪や低温続きで道路事情が悪く結局延期、3月3日(金)ハチ北スキー場への日帰りツアーになりました。

ビュースターとしては3年ぶり、私個人としては4年ぶりとなるスキーでした。この2、

3年脚力の衰えを実感していて、果たして雪の上で重い靴とスキーを履いてまともに滑れるのか…？ と不安いっぱいでした。

でも青い空のもと、仲間の6人の後についてゆっくり滑りだすと、技術・体力のことはともかく、とても楽しい気分になりました。



またレストランでの休憩時には、古くからのメンバーのカナダや信州のゲレンデでの若かりし頃の武勇伝などをお聞きすることができました。

みんなでゲレンデを滑る、懐かしい話を聞く……。スキーを愛する仲間とのツアーの醍醐味ですね。

おかげ様で楽しく一日を過ごし、怪我もせず無事帰ってくることができました。

次のシーズンもよろしくお願いします。

(ビュースタースポーツファミリー 岡村順子)

## デモ選&スキーテクニカルコンペ

3/19に志賀高原横手山スキー場で開かれた全国スキー協のデモンストレーター選考会に、中岡大・中岡滉の2名が出場しました。和歌山からは初めての参加でした。

結果は残念なものでした。(採点結果は全国スキー協のHPに掲載されていますので、興味のある方はご覧ください。)

### 定期総会のご案内

7月8日(土) 午前10時~12時  
和歌山市北コミュニティセンター



## 原稿募集中!

和歌山スキー協「50周年記念誌」の発行へ向け、「わたしと和歌山スキー協」の原稿を募集中です。締め切りは6月末。詳細は事務局までお問い合わせください。

発行責任 中岡 大 (和歌山県勤労者スキー協議会 事務局)

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 携帯 090-7873-3603

E-mail [dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp](mailto:dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp)

和歌山スキー協ホームページ <http://spowaka.sakura.ne.jp/ski/>